

RPPC メールマガジン 第 778 号

リサイクルポート推進協議会（令和元年 6 月 12 日）

■RPPC 事務局からのお知らせ

先週・今週のお知らせはございません。

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1. リサイクルポート推進協議会、令和元年度総会開催

リサイクルポート推進協議会（会長・米田徹糸魚川市長）は 6 月 4 日、第一ホテル東京シーフォートにおいて令和元年度総会を開催した。役員及び運営委員の改選、新規会員の承認、平成 30 年度活動報告、および歳入歳出決算報告、並びに令和元年度活動計画（案）、歳入歳出予算（案）について審議し、原案通り了承した。

総会開催にあたって米田会長は、「リサイクルポート推進協議会では 30 年度に組織の再編を行い、港湾のポテンシャルを活かした災害廃棄物の円滑な取組・強化、国際資源循環への対応、産業廃棄物の利用促進・活用の強化に向けた取組みをスタートさせた。今後とも循環資源型社会形成に向けた協議会事業の推進に一層のお力をお願いしたい」と挨拶した。

来賓の中崎剛国土交通省港湾局海洋・環境課長は、「平成 29 年度～30 年度にかけて議論し、

①国際資源循環、

②災害廃棄物の効率処理、

③産業副産物の利用促進、の 3 本の柱を立てリサイクルポート施策の強化を進めている。国際資源循環は東南アジアに向けた効率輸送、災害廃棄物の効率処理は今後の発生が懸念される大規模地震等の万一の場合を想定した発生側、受入側の連携による災害廃棄物処理システムの構築。また産業副産物の利用促進に関しては、CO₂吸着原として近年、ブルーカーボンが注目されており、その材料として産業副産物利用も検討されている。計画が進む洋上風力発電では、タワー基礎部に同材料を用いることで漁礁や藻場造成にもつながる。港湾局では従来通り協議会のご支援をいただきながら個別課題を解決し地球環境問題に貢献してまいりたい」と挨拶した。

総会議事では各部会から活動報告や令和元年度の活動内容等について説明が行われた。

2. 徳山下松港国際バルク戦略港湾、渡橋部築造工手続き

中国地方整備局宇部港湾・空港整備事務所は6月5日付で、徳山下松港国際バルク戦略港湾に係る渡橋部築造工事の手続きに入った。屈曲部①としての1スパンと渡橋部①の2スパンの合計3スパンを対象とするジャケット製作、築造工事が内容。15億円以上30億円未満の発注規模。宇部港湾・空港整備事務所では引き続き第3四半期に、今回の渡橋部から栈橋本体につながる屈曲部②と渡橋部②を対象とするジャケット2基、並びに栈橋部の最初の2基分を対象とする栈橋等築造工事（合計4基分）を発注することになっている。同工事は30億円以上50億円未満工事。現状で公表している今年度予定は同工事までで、残る栈橋部の製作・築造工事の発注時期は検討中。徳山下松港国際バルク戦略港湾の整備は令和5年度末の完成を予定している。

3. みなと総研、第42回港友研究会開催。中野芝浦工大名誉教授講演

（一財）みなと総合研究財団は6月3日、「みなと総研港友研究会」第42回講演会を開催した。中野恒明芝浦工業大学名誉教授／アプル総合計画事務所代表取締役を講師に迎え、『世界のウォーターフロントに見る水辺空間革命』のテーマで講演してもらうとともに、参加者と我が国のこれからのみなと空間の再生の在り方について意見を交した。

中野名誉教授は講演の中で、氏がプランに関わった門司港レトロの水辺空間再生計画の経緯について述べるとともに、米国や欧州諸都市のウォーターフロント開発の事例を紹介した。

【港湾空港タイムス 6月10日号から編集】

////////////////////////////////////

発行者：RPPC 広報部会

部会長：新谷 聡 りんかい日産建設（株）

部会員：丸岡 裕人 日本製鉄（株）

友歳 巖 五洋建設（株）

安藤 彰 東京都

齋藤 憲雄 山形県リサイクルポート情報センター

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：外山、清水、安田

URL: <http://www.rppc.jp/> E-mail: rppc_jimukyoku@wave.or.jp

////////////////////////////////////

■会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡ください。

開催案内等の情報をメルマガで配信致します。

■メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡ください。

■メルマガに関するご意見、ご要望がありましたらご連絡ください。